



# 地域包括支援センター引野



## 2018年冬号

編集・発行

福山市地域包括支援センター引野  
2018(平成30)年12月発行

### お知らせ

#### ★地域ケア会議【圏域】開催報告

・地域ケア会議…2014年6月25日の介護保険法の一部改正により、各市町が地域ケア会議を実施することが制度的に位置付けられました。

・福山市地域包括支援センター引野では2014年度から2018年度11月末現在、地域ケア会議(個別)33回、(圏域)3回開催しております。今回は4回目の圏域会議開催です。今年度、地域ケア会議(個別)の多くは親族支援や介護保険制度とのつながりが少なく、身体機能の衰えと共に生活課題が表出したケースへの対応事例を協議するものでした。

・圏域会議を開催するにあたり何をテーマにするのが良いかセンター内で協議した結果、約4年間の会議で一番多く検討した内容を抽出した内容を皆さんで話し合っていたことに決めました。そこで「認知症」というテーマが選択されました。

☆2018年11月29日(木曜日) 14時～15時30分 参加人数31名  
陽のあたる家 2階 地域交流スペース  
テーマ

#### 『認知症になっても住み慣れた地域で生活できる事が出来ますか?』

《手法》 班ごとに模造紙とポストイットを使った意見交換と班発表

・認知症を発症した時、①住み慣れた地域で暮らし続けるには何が必要なのか、それぞれ自由に意見を交換し、その後①を実現するためにできることについて考えてみました。

結果は班によって様々でしたが共通して認知症に対する正しい理解と「あたたかい地域づくり」を行うことの大切さが話し合われていました。

・地域包括支援センターでは、認知症についての正しい理解が得られるよう地域サロンへの出前講座や認知症サポーター養成講座を通じて広報活動を行っていきたく考えています。

講座の依頼お待ちしております。  
宜しく願いいたします。



\*ホームページも見て下さいね

『[houkatsuhikino.rgr.jp](http://houkatsuhikino.rgr.jp)』

『包括引野』で検索して下さい。



### 「権利擁護」ってなんだろう? シリーズ①

「権利擁護」(けんりようご)と聞いて皆さんはどんなことをイメージされますか?もしかしたら堅苦しいとか難しい印象を受けられるかもしれませんが(\*^\_^\*)高齢者や障がい者、児童福祉の現場等で使われることが多い言葉で日常生活の中ではなかなか耳にする機会は少ないと思います。今号では「認知症サポーター」について説明します。

#### 「認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けたい」

尊厳をもって最期まで自分らしくありたい。これは誰もが望むことですが、この願いをはばみ、深刻な問題になっているのが「認知症」です。いまや老後の最大の不安となり、超高齢社会をつき進む日本にとって最重要課題の一つとなっています。

#### 「認知症は、ひと事ではありません」

認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では4人に1人のその症状があるといわれています。認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、その結果まわりの人との関係が損なわれることもしばしば見られ、家族が疲れ切って共倒れしてしまうことも少なくありません。」しかし、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことは可能です。

#### 「認知症サポーターって聞いたことがありますか?」

現在「認知症サポーターキャラバン」が全国で展開されています。認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る、認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせるまちを、みんなでつくっていくことを目指しています。

※上記すべて認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び地域で支えよう」より抜粋。

#### 「認知症サポーター養成講座を受講してみませんか?」

「認知症サポーター養成講座」は認知症に対する正しい知識を共有し、どのように対応していけばよいかを学べる場です。認知症は特別な病気ではなく、決して他人事ではない事を知る事は地域の中にある偏見や、それによって生じる孤立を無くしていくための「はじめの一步」になります。馴染みの関係を変えない事こそが認知症の方や家族への最大の支援。受講してみたいと思われる方は是非、ご一報いただければと思います。

【お問い合わせ】

◆福山市健康推進課…Tel(084)928-3421

◆福山市地域包括支援センター引野…Tel(084)940-5090

